



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-11

5月号

発行 2026年5月20日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)

会計 吉田 公代

主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』

スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』

書記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: 田上 正(熊本むさしクラブ)

主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』

スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』

東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)

主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”

スローガン Change!

5月の聖句

わたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。

(新約聖書 ペトロの手紙Ⅱ 3章13節)

We are looking forward to a new heaven and a new earth, the home of righteousness.

(Peter 2 3:13)

(4月25日例会出席率)

出席者6名 クラブメンバー出席率 50%

川越クラブ 4月例会議事報告

利根川太郎

日時:2026年4月25日(土)11:30~13:00

会場:東武動物公園内レストラン

4月に入って暖かい日が続き、青葉がまぶしくなるとともに、藤の花も満開になっています。春から初夏にかけての花が一斉に花開いたようで、少し季節が狂っているような、めまいを感じるのは気のせいでしょうか。

川越ワイズメンズクラブは、ゴールデンウィーク直前の4月25日に、東武動物公園にて4月例会を実施しました。この企画は、今年度方針の「会員相互の親睦を深めるお楽しみ例会」第二弾で、動物園が好きだという山崎さんが企画立案してくれました。東武動物公園訪問の詳しい内容は、山崎さんの報告に譲って、ここでは4月例会のもう

一つの目的である「Week 4 Waste」と、公園内レストランでの簡単な事務例会について報告します。

まず、「Week 4 Waste」については、東武動物公園駅から東武動物公園までの道と動物公園周りでのゴミ拾いを実施しました。観光地でもありゴミはほとんど落ちていません。もっぱら「川越ワイズメンズクラブがゴミ拾いをやっています!!」のアピールタイムでした。拾ったゴミは、200gといたところでしょうか。来年はもう少し実効性のある場所を考えます。



次に、4月例会の報告をいたします。

1. Yの森コーヒーについて

・昨今の物価上昇は世界的な状況です。タイの販売元「オリエンタルファズ」から、値上げについて連絡があり、4月から1袋60パーツ値上げて340パーツになります。

・これにともない、川越クラブでの販売価格も2,200円に値上げすることにしました。1袋250g入りですので、値上げ後でも100gあたり880円です。UCCコーヒーのコーヒー販売店頭価格を見ますと100gあたり1,000円をかるく超えていますので、まだまだ価格面でお安くなっていると思います。味と香りは、アラビカ種のピーベリーで深入りのた

いへん美味しいコーヒーです。皆様今後もごひいきにお願いします。

2. 「川越イモファン」の今後について

・山崎さんから、7月25日(土)の例会で検討したいとのご相談がありました。

・7月例会で今後のファンドの検討をします。

・Yの森コーヒーを本会計からファンドに移すことについては、5月例会で検討したいと考えています。

3. 東日本区大会物品販売について

・川越クラブは、いも菓子(イモ松葉 550円 20袋、イモ納糖 700円 20袋)とYの森コーヒーを販売します。

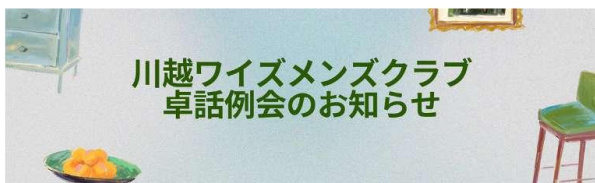
4. 5月23日(土)卓話例会について

・滑川裕子氏(英語の幼児教育の先駆者)の卓話です。参加者は一般の方を含めてどなたでも歓迎します。

・5月23日(土)13:30 受付開始 14:00~16:00

・ウエスタ川越 3階 研修室 4

・五十嵐政二さんの入会お披露目も予定しています。



講演内容

第一部：地域に根ざした幼児教育の創出

テーマ 「住民主体による理想の幼児教育の実践～公的援助と組織経営を軸とする歩み～」

第二部：遊びからまなびへ、そして世界へ

テーマ 「海を越える憧れを育むホームステイ研修が遺したもの」

講師紹介

お名前	主な経歴
滑川 裕子 (なめかわ ひろこ) 氏 茨城県水海道市ご出身	貿易会社勤務、ラゾ・パーティーチューター、「子供英会話教室」主宰、東京カルチャースクール、「埼玉県フナイノステイ事業」受け入れ (21ヶ国42名)

開催概要

日時:

2026年5月23日(土)

14:00~16:00 (開場 13:30)

場所:

ウエスタ川越 3F 研修室 4

主催:川越ワイズメンズクラブ



アクセス:

川越駅より徒歩5分



・公共交通機関をご利用ください。

お散歩例会訪ねた東武動物公園の報告

山崎 純子

まずは、東武公園で食事と例会終了後、いよいよお散歩へ

一行6人は自由解散が原案だがとりあえず団体行動をとった。まず園内バスに乗り目的地のハートフルガーデン下車。以後いくつかの拠点を廻った。

・大観覧車

1ブース3人2組で乗った。ゆったりと上昇するこの乗気がある。どこへ行ってもあれば目ざとく乗る。園内の様々な乗り物やピクニック、ブースを下にはるか筑波山まで眺められ快適な一回りだった。

・猛獣エリア

大観覧車下車後このエリアに向かう。目指すは白タイガー。何頭かのタイガーがキリッとし姿を見せる。女性ワイズは大いに喜び写真を撮りまくる。ライオン、罌等それぞれの猛獣の凄さに圧倒されそして堪能した。象、カバの体躯と風貌に感動しながら次へ進んだ。

・小動物エリア

かわいいリス、猿、アルパカ、大きなバイソン、ラクダ。ふれあい広場は一部入る事ができる。水辺のワニ、ペンギン、フラミンゴを眺め楽しんだ。

・ニシキヘビ

目を背けたくなる程の太さ、長さ、何メートルあるか、白とグレーの鱗が美しくピカピカ光り雄々と蝮局を巻き圧倒的な存在。子どものニシキヘビは黒と黄色の縞々でピョンピョン跳ねて長さも短く可愛かった。

・ショップ、カフェ

時々ショップに立ち寄り土産物を物色。カプセルをガチャガチャ回しお目当ての白タイガーのキーホルダーをget。大満足のメンバー達。その他数々の土産物を物色した。カフェで一休み。桜の花風味のアイスを食べた。お祝いの桜湯の味がして美味しかった。

・感想

大人同士でこんな遊園地を廻るのもいいものだ、と思った。動物たちは人間の心を癒やして前向きに向かわせてくれる。動物本来の生活を取り上げてしまい心が痛むがプロの飼育スタッフがしっかりと見守るのだろう。

花を見る機会は日常的にあるが動物園を訪れる事は特別に計画しなければ行けない。一日ワイズのイベントとして楽しく和やかに過ごせた事は次の活動へのエネルギーになり、このような例会も時には計画しても、と思った。



「こえどブルーマルシェに出店、参加！ 晴れて青空！笑顔をあふれて (*~*)(*~▽')(*~*)」

新井 壽代

日時：2026年4月12日(日曜日)10時~15時

場所：ユニクス川越にぎわい広場
&ウエスタ川越交流広場

こえどブルーマルシェに出店、参加致しました。タイのコーヒーと芋菓子(芋松葉と芋納豆)、川越YMCAにご寄付頂いた雑貨と衣類を販売致しました。晴天に恵まれて、人出もあり、多くの笑顔との出会い、再会もありました。

共に来店している方々との交流も意義あるもので、日頃の活動や販売品についての話を伺いました。地域の地元の住民の方は、芋菓子の歴史をお聞かせくださいました。芋菓子を販売しながら、その歴史をあらためて、見直しました。

また、アップのメンバーのお手伝いも有難く、その場での彼らとの交流も楽しいものでした。そして、当日行われていたポッチャの大会に、参加していたクローバーのメンバーを応援できたのも良き時間でした。決勝戦に進んだメンバーたちを目の前で応援出来たことは忘れられない思い出になりました。

次回もメンバーと共により楽しく、意義あるショップを楽しみにしております。今後、このようなイベント開催時に、コーヒーと芋菓子と共に販売する品をどのように集めるか？も一考しなければならないと思います。

国際の舞台から

アジア太平洋地域のトピック

利根川 恵子

南東区大会

6月6日に開催される東日本区大会が間近となりましたが、世界中の他の地区でも新しい年度に向けて、区大会が開催されています。アジア太平洋地域内では、5月16日に、香港 YMCA において、南東区(香港、マカオ、ネパール、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ミャンマーを含む)が区大会を開催し、150名が参加しました。



オーストラリア区

新しくメルボルン・ワイズメンズクラブがチャーターされ、メンバーが50名ほど増えました。今まで停滞気味であったオーストラリアのワイズ運動が復活しました。



台湾区

台湾でも W4W(ウィーク・フォー・ウェイト)のクリーン活動が行われています。



リレー随想

「川越センターの思い出」

太田 聡

川越ワイズメンズクラブの皆さま、いつも埼玉 YMCA の活動を温かく支えていただき、本当にありがとうございます。昨年、2025年5月10日に総主事就任式を行い、ようやく一年が経ちました。この一年間、目まぐるしく変わる社会の中にあっても、皆様のお祈りと支えに守られ、YMCA の活動を無事に継続できましたことに心より感謝申し上げます。

私は2002年に埼玉 YMCA に入職いたしました。同期は河合今日子さん、青柳真理子さん、リチャード・ウェブさんです。誰一人欠けることなく25年目を迎える今も共に現場に立ち、私にとって大きな喜びであり誇りです。

私のキャリアは所沢センターのウェルネス(水泳や体操の指導)から始まりました。その後、特別支援プログラムの開始に伴い浦和センター、川越センターを回る日々が始まりました。それぞれの地域に若干の違いはあれど、共通して強く実感したのは、どのセンターにも必ず「核となって支えてくださる熱い方々がいる」ということでした。特に川越ワイズの皆さんには、川越名物のサツマイモの販売を通して、「アンダンテ」や「クローバー」の活動を長年温かく支援し続けてくださったりしていることには、感謝の言葉もありません。プログラムの現場で一緒に汗を流してくださるワイズの皆様の姿は、いつも私たちの大きな励みとなっています。

また、「川越まつり」では、川越在住の会員、ワイズの皆様のお力添えのおかげで、実際に何度か山車を引かせていただいた思い出もできました。海外から赴任してきたスタッフたちにとっても、この川越地区での暮らしは本当に楽しく、かけがえのない経験になったことと思います。

1988年に開設された川越センターは、もうすぐ40周年を迎えようとしています。昨年12月には持田二郎さんにお会いする機会がありましたが、今でも川越センターのことを深く気にかけてくださっていました。私自身も、すっかりこの川越という街に魅了され、現在はここに居を構えています。

今、同期の河合さんを中心とした強固なネットワークがこの地域には息づいています。だからこそ、この素晴らしい地域により一層用いられるよう、これからの働きを力強く進めていきたいと考えております。川越センター開設40周年、そしてその先の50周年に向けて、どうぞこれからも皆様と共に歩ませてください。今後ともよろしくお願いたします。

編集後記

編集子は、5月14日から29日まで、インドに出張するため、航空券の手配、訪問先とのアポなど、全て準備しました。ところが、3日の朝から、4年前に施術した、人工膝関節が突然痛み出しました。しかし、連休中のため、病院の予約が取れず、やっと連休明けの11日(月)の午前10時に執刀医の予約が取れました。再手術も覚悟して診断を受けたところ、レントゲンを詳細検査したところ、人工関節には全く異状がなく、水も溜まっていないので、何かのショックで腫れが生じ神経を圧迫したのだろうから、3週間位で元の状態にもどるでしょう、との診断でした。

一安心でも、いささか、痛みを抱えたままインドに行く勇気もないので、早速、自宅に戻ってから、インドの訪問先にお詫びの連絡を入れて、延期をお願いしました。幸い、皆さん、快く私の要望を受け入れてくれました。あー。それから10日ほど経ち、幸い、痛みは大幅に改善され、階段の上り下りも自力でできるようになりました。ご心配をおかけしましたが、神さまは、まだお世話になった多くの人に十分お礼ができていなので、もうしばらく体を動かさないと言っておられるのではないかと思います。23日の例会は出席します。(KY)



2016年川越祭り

YMCA報告

河合今日子

5月3日(日)にたんぼぼ&トースター&アップの3活動合同で、市民の森・見沼グリーンセンターで開催された国際友好フェアに参加しました。

自分のお財布と相談しながら好きな食べ物や飲み物を購入したり、仲間と広場で思い切り遊んだり、充実した1日を過ごすことができました。来月は陶芸の予定です。さてさて、どんな作品ができるか楽しみです。

